

日仏の歴史と文学

教授 松原陽子

1. 研究内容

フランスをはじめとするヨーロッパの歴史や文学作品、あるいは日本の歴史や文学作品を原案としてつくられた演劇作品を分析します。演劇の演出効果に着目しながら、日仏を中心としてヨーロッパの歴史と文学について学ぶことを目的とします。よく知られている人気作品『レ・ミゼラブル』や『オペラ座の怪人』も分析対象としますが、ほかにも魅力的な演劇作品はたくさんあります。演劇というジャンルの独自性について考察するために、演劇作品と映画作品の比較もおこないます。

演習の内容に関連して、受講生が各自で選ぶ主題に関して、発表と質問の時間を設けます。また、レポート等を作成し、論文作成に必要な技法を学ぶことを目指します。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は基本的な研究を進め、履修生が選んだ主題についてまとめ、報告できるようになる。

秋学期は履修生が選んだ主題について発表資料とレポート作成ができるようになる。

合宿はありません。

《3年次》

春学期は演習の内容に関連して、履修生が選んだ主題について発表と議論ができるようになる。

秋学期は春学期に履修生が選んだ主題に関する研究を深める。

合宿はありません。

《4年次》

春学期は履修生が選んだ主題について発表と議論を行い、それぞれ論文の作成に取りかかる。

秋学期はそれぞれ論文を作成する。

合宿はありません。

3. 教材

なし。適宜紹介する。

4. 成績評価の方法

発表や議論等授業への参加度とレポートや論文、資料で総合的に判断します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

このゼミでは、演習の内容に関連して、受講生各自が選んだ主題について調べ、発表やレポート、論文作成を進めてゆきます。